

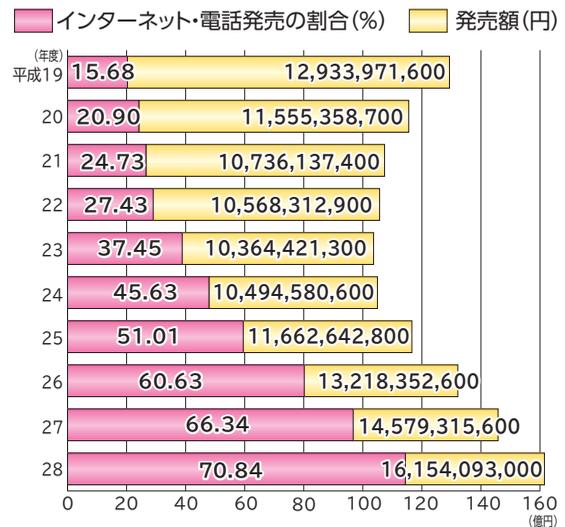
発売額の推移と入場者動向

好調に伸びるネット発売

帯広単独開催が始まった平成19年度、ばんえい競馬の発売額は130億円に迫る数字を記録しました。その後、連続して減少したものの、平成23年度を底にして、翌24年度以降は増加に転じ、好調に推移。平成28年度においては、単独開催後最高の160億円超を記録しました。

この順調な発売額の増加には、インターネット・電話投票による発売が大きく寄与しています。全発売額に占めるインターネット・電話発売の割合は、初年度の15.68%から年々伸び続け、平成28年度には、70.84%を占めるまでになりました。全国の地方競馬が終了した後もばんえい十勝ではナイト競馬を開催しているため、その効果も発売額増加に貢献していると見られます。

ばんえい競馬の発売額

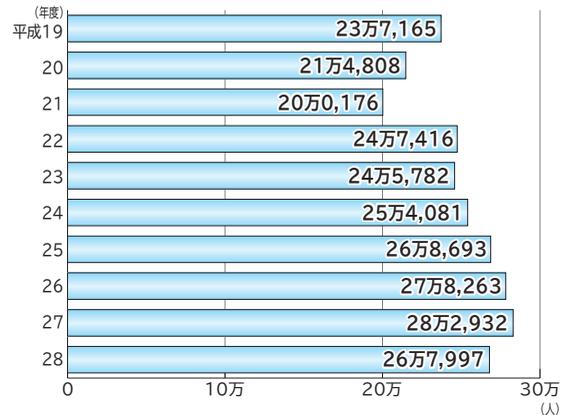


入場者数も順調に増加

発売額と同様、帯広競馬場の入場者数も、初年度に約237,000人を記録した後に減少しましたが、平成22年度以降は持ち直し、徐々に増加。平成25年度からは常に26万人以上の入場者数をキープしています。

これは、ばんえい競馬が各メディアで取り上げられ、観光スポットとして全国的に知られるようになったこと、人気漫画『銀の匙 Silver Spoon』のアニメ化・実写映画化の影響、レースだけでなく市民も観光客も楽しめるさまざまなイベントを開催したことなどの効果と推測されます。

帯広競馬場の入場者数



ばんえい各種ツアーも好評

初年度に団体のみを対象として始まったバックヤードツアーを、翌年度からは個人も対象として実施。当初は無料でしたが、有料化して一時参加者数が減少しましたが、その後は順調に増加。平成27年度には、7,364人が参加しました。平成22年度から開始した朝調教ツアーも、目玉ツアーとして人気を集め、平成28年度には、540人が参加しています。

バックヤードツアー参加者数



朝調教ツアー参加者数

